

3 研究のまとめ

(1) 研究の成果

- 昨年度作成した「生徒の姿チェックシート」を、理論研究や研究委員の先生方の実践を基に、「主体的・対話的で深い学び」の視点で整理し直したことにより、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」のそれぞれを、より具体的にイメージできるようになりました。
- 「手立てシート」については、考えられる手立てを追加し、生徒の実態や単元の流れに合わせて手立てを選択できるようにしました。研究委員の先生方に、「生徒の姿チェックシート」でチェックが付かなかった項目以外にも目を通していただいたことで、様々な手立てを取り入れて実践に取り組んでいただくことができました。
- 「生徒の姿チェックシート」を使用して生徒の実態を把握し、実現できていない生徒の姿に対する手立てを「手立てシート」から選択した上で、単元構想を行いました。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った単元構想を継続することにより、授業の質的改善につながり、生徒に力を付けることができたと考えます。

(2) 研究の課題

- 研究委員の先生方には、今年度作成した「手立てシート」を使用して、授業実践を行っていただきましたが、今年度の実践の中で、全ての項目の有効性について検証することはできませんでした。今後も実践を積み重ねながら、より妥当性のある内容にしていく必要があると考えます。
- 今回の研究では、クラス全体の傾向から取り入れる手立てを検討して授業の質的改善を図り、成果を上げることができました。しかし、学習活動の中で停滞している生徒への個に応じた手立てや、単元構想通りに学習が進まなかった場合の手立てを検討することはできませんでした。今後も、授業に取り入れることができる手立てを探っていきたいと考えます。

終わりに

本研究を進めるに当たり、佐賀市立金泉中学校、武雄市立武雄北中学校において授業改善の手立てを取り入れた検証授業及び公開授業研究会を開催しました。公開授業研究会では、授業について貴重な御意見、御感想を頂き、研究の成果と課題を明らかにすることができました。御参会いただきました先生方に感謝申し上げます。本研究の成果が生徒の学びに還元され、更なる授業改善につながれば幸いです。

最後に、本研究委員会のアドバイザーとして御指導、御助言を頂きました佐賀大学達富洋二教授、また、公開授業研究会会場校の皆様深く感謝申し上げます。